

「私と本と幸せと…」 ～6年生 国語～

○6月25日

「6年間で一番心に残っている本は？」

担任の先生が自分の小学校時代の思い出話をしながら、こんな課題を提示しました。

各自で課題に対する答えと、その理由をまとめていきます。

ノートの子は『一週間の妖精』。「1年生の頃からずっと見ていました」と書かれていました。



ノートに書いた後は、グループで交流。



『三匹のこぶた』や『はらぺこあおむし』等、なつかしい本の名前も出てきます。



心なしか、みんな笑顔、やさしい顔になっていました。

「本の記憶」は「幸せの記憶」だったのかもしれませんが。

「思い出の本」の交流は、「幸せな時間」の共有になりました。

